

小牧市ごみ処理基本計画の進捗状況について

第 1 回審議会資料で、集計が間に合わなかった「再資源化率」について下記のとおり報告いたします。

①《再資源化率》ごみ処理基本計画（現行版）P.24

	R5実績	R6実績	目標値	達成度
再資源化率	37.3%	37.6%	37.8%以上	→

【再資源化率が微増した要因】

- ・前年度に比べ、資源化量(分子)の減少の割合（1.6 ポイント）よりも、ごみの排出量(分母)の減少の割合（2.4 ポイント）が高いため、再資源化率が 0.3 ポイント微増した。
- ・家庭系ごみ、資源の排出量について、市の啓発・指導等の施策に伴うリサイクルや分別に対する意識向上のほか物価高騰による消費活動の抑制が考えられ、家庭系ごみ・資源の排出量は約 797t 減少となった。
- ・資源について、本市が回収を推進している剪定枝類にあっては、今まで燃やすごみとして排出されていた花やつるを回収品目に追加したことにより約 175 t の増加となりました。
 雑がみにあっては、本市の雑がみについては他市と比較すると雑紙として排出できる品目が多く、継続的な啓発活動により約 25 t の微増となりました。
 また、プラスチック類にあっては令和 6 年 4 月から開始したプラスチック製品とプラスチック製容器包装の一括回収（プラスチック類）を開始したことにより約 80 t の増加となりました。
 資源の集団回収については近年のペーパーレス化や民間の古紙回収コンテナの増加による排出機会の多様化及びコロナや子ども数の減少の影響を受け、地元での資源回収の取りやめ等により排出機会や排出量が減少し、集団回収量は約 156 t の減少となった。
- ・埋立てごみを含む ごみ・資源の総排出量は約 1,101 t の減少となった。

令和 6 年度のごみの排出量及び資源化量（前年度比較）

表 2 ごみの排出量（分母）：単位（t）

	R4	R5	R6	差(R6-R5)	割合
家庭系ごみ	24,075	22,990	22,103	△887	96.1%
内 燃やすごみ	20,662	19,713	19,001	△712	96.4%

家庭系資源（※）	7,867	7,604	7,694	90	101.2%
内プラスチック類	2,035	1,914	1,994	80	104.2%
内雑がみ	707	672	697	25	103.7%
内剪定枝	1,615	1,884	2,059	175	109.3%
事業系ごみ	10,531	10,396	10,358	△ 38	99.6%
事業系資源（※）	4,283	4,673	4,557	△ 116	97.5%
集団回収（※）	1,327	1,173	1,017	△ 156	86.7%
計（埋立ごみ含む）	48,209	46,858	45,757	△ 1,101	97.6%

（※）資源化対象。表 3 で再掲

表 3 資源化量（分子）：単位（t）

	R4	R5	R6	差 (R6-R5)	割合
エコル資源化（スラグ等）	4,139	4,044	3,941	△ 103	97.7%
家庭系資源	7,867	7,604	7,694	90	101.2%
事業系資源	4,283	4,673	4,557	△ 116	97.5%
集団回収	1,327	1,173	1,017	△ 156	86.7%
計	17,616	17,494	17,209	△ 285	98.4%